ユキツバキ ［ 雪椿 ］

5本の樹

常緑／低木／木本植物／在来種

科　名　ツバキ科（APGⅢ）

特　記　生長：やや遅い

日本海側の多雪地に適応した椿。積雪地では枝が地を這う樹形になり、雪が解けると枝を立ち上げ花を咲かせる。花は紅色の一重（まれに八重）咲き。雄しべは、筒状ではなく花糸は黄色を帯びる。エゾユズリハ、ヒメアオキなどとともに積雪地でも生育できる特性を持つ植物。

葉

花

実

刈込例

Memo

積雪の重みで折れないしなやかな枝を持つ特徴がある。雪の下は０℃以下にならず湿度も保たれる。

お手入れカレンダー

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
花　期				（生育地により異なる）								
果　実							（実がつくことは少ない）					
紅　葉												
施　肥												
剪　定						（花後早めに）						

★：花芽分化の時期（分化後に剪定すると花付が少なくなる）

好みの環境					
日当り	陽	○	○	耐	陰
土　壌	乾		○	○	湿
寒　さ	強	◎			弱
暑　さ	強	○			弱
潮　風	強	○			弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
		○					

ポイント　湿り気ある肥沃な土壌を好む。強い日差しや西日を避けた場所が適地。ヤブツバキに比べ①鋸歯が鋭い②葉が薄い③樹高が低く株立ち状になる。積雪地では枝がしなりやすいよう傾けて植えるとよい。

剪　定　剪定は花後。実をつけることはまれなので花殻も取り除く。６月頃には翌年の花芽が分化されるので、これ以降は徒長枝の切り戻しなど樹形を整える程度。積雪地では、雪により傷んだ枝を整理する。

病虫害　チャドクガが発生するため敬遠されやすいが、発生初期の幼虫は日中、葉の裏側に隊列を組んでいるので、比較的簡単に除去できる。他にはカイガラムシが発生することがある。

呼べる鳥　ヤマガラ・メジロ・キジバト
カラスバト

SEKISUI HOUSE
COPYRIGHT©SEKISUI HOUSE,LTD. ALL RIGHTS RESERVED.